

富士登山

波止元 圭（春秋会）

1. インド人の友人の一言

ある日、インド人の友人に「日本人なのに富士山に登ったことがないのですか？私は(富士山に)登ったことがありますよ。」と笑いながら言われました。ふと私は「富士登山はもとより、小学校以来、登山の経験すらないのでは？」と記憶を思い起こしました。一方で、海外の知人・友人が来日した際に、富士山について登山の観点を含めて適切に説明することで富士山を一層理解してもらい、ひいては日本を好きになってもらえればうれしいと思いました。そこで、2014年春、富士登山を決意し、その夏に富士山に登ることにしました。

2. 基礎体力作り

基礎体力作りのため、ジョギングを毎晩すると共に、関東近郊の山にほぼ毎週末出かけました。

(1) 最初の山、滝子山

最初に登ったのは、滝子山（標高1600m程度）でした。登山は、日頃の運動不足のため体が怠けきっており思っていたよりも体力面・精神面でかなりきつかったです。事前にインターネットで滝子山について一応調べていたものの、携帯電話機の電波は圏外だし、5月下旬なのに雪が残っており、さらに橋が雪で流されていたり道が崩れていたりしてどこが



写真1 滝子山の頂上から薄らと見える富士山

道なのかよく分かりませんでした。また、高いところが苦手なのに傾斜が急な斜面上を蛇行する道を登ったりと、遭難や滑落などの事故のリスクを体感しました。

滝子山の頂上に着くと、富士山を遠方に望む風景が広がっていました（写真1）。疲労感が達成感のような充実した感情に変わり、しんどかったけど来て良かったと心から喜べるものでした。

(2) その他の山

滝子山の後、高尾山、三頭山、大山、大菩薩嶺、塔の岳（写真2参照）、大岳山などに行きました。このように毎週末のように山に登っていたため富士山に登るころには、体力的に自信が着いて富士登山を待ち遠しく思うようになっていました。



写真2 塔の岳の山頂にて

3. 富士登山

(1) 台風の影響による延期

富士登山のため、旅行会社のフリープランのツアー（バス+宿のみ）に申し込みました。当初、2014年8月10日に富士山5合目までバスで行き八合目まで登って一泊し、翌11日に登頂して下山する予定でした。しかし、出発前日、映画館でジブリの「思い出のマーニー」を鑑賞している折、旅行会社から「台風11号のため富士登山ツアーを中止する」旨の

連絡を受けました。折角、富士登山に向けて気持ちを高め心身共に準備を整えていただけたのに、この機を逃したら次の機会はないかとも思いました。そこで、登山日を当初予定日から数日後の8月14、15日に変更しました。

（2）富士登山5合目～8合目（吉田ルート）

14日朝、ツアーバスで富士山5合目まで行きました。予約した宿がある八合目に向けて昼の12：15頃から妻と二人で登山を始めました。まず富士山5合目の登山口では登山者に入山料支払の呼びかけがなされていました（入山料は千円であり、強制徴収ではなく任意支払です。）。5合目では雨が降り出し、レインコートを着ての登山になりました。日頃の練習の賜で、5合目から8合目の宿まで難なく3時間程度で到着しました。とはいえ、途中で数か所あった斜面の岩場では、雨が降っていたせいもあり、慎重さを欠くと滑落のリスク（命に別条はないでしょうが悪くて骨折でしょうか。）があるように思いました。

なお、登山途中にはトイレが複数個所設置されており、トイレでは任意協力で200円を支払う仕組みになっていました。また、山小屋では飲食品が販売されていました。高度が高くなるにつれ物価が高騰し、8合目付近では500mlのペットボトル水が500円、カップヌードルが600円でした。

（3）高山病

8合目の宿に着いたのが15：10頃でした。明朝の頂上でのご来光鑑賞に備え、16：30に早めの夕食をとりました。

その後、すし詰め状態で並べられている寝袋のうちの一つに入りました。何とか寝ようとするも全く寝れませんでした。寝るスペースが窮屈であり、隣人のいびき・寝言が気になり、さらに頭痛と吐き気に急に襲われ人生初の高山病に直面していたためです。

（4）登頂中止

そんな中、さらに眠りを妨げるように強風の音が外から絶えず鳴り響いていました。明日の天気は大丈夫だろうか？と深夜に心配に思っていたおり、ガイド付き団体ツアーの山岳ガイドと思われる人の声が聞こえてきました。どうやら団体客に「強風のた

め明日の登頂は断念します。今回は残念ですが、 magariベンジしましょう。」と説明しているようでした。

周囲に重たい空気が漂っていました。とりあえず早朝の天候を確認した上で登頂可否の判断をしようと考えました。早朝3：00くらいに宿の外に出て天候を確認すると、その風の強さと、目を開けてられないような風塵に驚きました。あと少し登れば頂上に行けるのに……。葛藤の末、結局、山小屋スタッフからの登頂中止の助言はじめ、強風によるリスクを考えて登頂を断念しました。

（5）ご来光

8合目からですが、写真3（4：20頃撮影）のように、雲海に浮かぶ神秘的なご来光を見ることができました。

その後、下山のため宿を5：10に出発し7：15頃に5合目に帰ってきました。下山中に見た雲海の中の富士吉田市と河口湖もご来光と同様に記憶に残る明媚な光景でした。



写真3 8合目からのご来光

4. 所感

富士登山のつらさは、宿の寝床環境の苛酷さと高山病にあると思います。一方、ご来光はじめ地上を俯瞰する風景は一見の価値があると思います。

富士眺望や富士登山は、人の創造性・創作性を掻き立て、得られる着想は人それぞれだと思います。だからこそ、古来より富士山に接した人によって、自然（山岳）に対する信仰心が芽生え、日本独特の芸術文化が生まれたことに何の不思議もありません。

日本人として、一つでも多くのこのような日本の魅力を再発見して人生の糧にすると共に周囲にも知ってもらい人生がより豊かなものになりましたら幸いです。

日弁サマーパーティ！

中 島 佐智子（春秋会）

はじめに

皆様、はじめまして。春秋会の中島佐智子と申します。たった今、春秋会と申しましたが、会派活動は数えるほどしかしたことが無い若輩者でございます。そのような私が、先日行われました「日弁サマーパーティ」におずおずと参加してまいりましたので、そのときの様子などをご紹介させていただければと思います。

六本木ヒルズ倶楽部

日弁サマーパーティの会場は、六本木ヒルズの森タワー 51Fにある会員制クラブでした。出不精の私が今回の日弁サマーパーティに参加を申し込んだのは何を隠そう、この会場に惹かれたためです（笑）。プライベートでは絶対に行かないであろう、会員制クラブなるものを見てみたく、同期の先生をお誘いして申し込んだ次第です。当日は手伝いを頼まれていたため小雨の降る中、早めに会場に向かうも間違えてオフィス用の入り口から入ってしまい、受付の綺麗な女性に冷たい顔で訂正されるなど、素人感丸出しでした。

51Fに到着すると、ピシッと黒スーツを着た案内の人が準備中の会場に案内してくれました。まだ人が入っていない会場はがらんとしていて少し寂しさを覚えます。

受付係

当日は春秋会の受付係をやらせて頂きました。準備中に他の会派の受付係の先生方とお話しできたことで、緊張をほぐすことができたように思います。また、受付係として、同じ会派の先生方とご挨拶を交わしたり、また他の会派の先生方がご挨拶を交わすのを間近で拝見できたことで、先輩方のお名前と

お顔を少しでも知ることができたのがとてもよかったです。参加者が多かった会派では、受付に人が並んでいるのを見るや素早くお手伝いくださる先生もいて、各会派の先生方の仲の良さなども感じることができました。

遅れての会場入り

会場では幹事長のご挨拶が終わり歓談が始まろうといったころ、春秋会の先生方が揃われたため一足先に御役御免となり、遅ればせながら会場入りしました。最初にがらんとした会場を見ていたせいか、人が入った会場はとても賑やかに感じました。そんな中、ウェイター＆ウェイトレスに外国人の方を見かけて、さすがヒルズだわ、などと一人で関心しておりました。料理も楽しみにしていたのですが、比較的人が空いていたケーキばかりを取って食べてしまい、料理は見ずじまいでした。

歓談、ビンゴカード作り

立食パーティだと、歓談の時間は緊張しませんか。今回のサマーパーティでは、受付の際に各先生に番号が書かれていないビンゴカードの台紙とともに、Freeと書かれたシールが1つと残りは全て同じ番号が書かれた番号シールをお配りしたんです。歓談の時間中に、それを手に他の先生に話しかけ、お互いの番号シールを交換してビンゴカードを完成させるというミッションが与えられました。ビンゴカードを完成させるためには、25マスのうちの2マスにFreeと自分の番号シール1つを使うとして、少なくとも23名の先生に話しかけなければいけません。ここに、若手の先生でも話しかけやすくしよう、会派間の交流をしやすくしようといった幹事の先生方のお心遣いがあったように思います。このミッション

のおかげで、たくさんの先生に話しかけたりかけられたりが自然に行われていました。

ビンゴ大会

歓談の時間が終わると、ビンゴ大会の始まりです。ビンゴ大会では、最高賞になんと液晶テレビが用意されていました。豪華！しかも、ビンゴ大会の景品のほとんどが会員の先生方からの寄付によって賄われているとのこと。皆様太っ腹!!

ビンゴ大会では、どんどん玉の入った籠が回されて玉が抽選されていきました。しかし、なかなかビンゴの声がかかりません。リーチのかかった先生は壇上に呼ばれるのですが、壇上の人数がだいぶ膨らんできました。私はといいますと、リーチがかかる様子もなく、どの先生が液晶テレビを仕留めるのかと壇上の先生方をドキドキしながら見ておりました。そうこうしているうちに最初のビンゴが出まして、大きな拍手とともに晴れて液晶テレビは貰われて行きました。当たった先生はあれを手で持って帰るのでしょうか。その後私は、密かに千疋屋のフルーツゼリー、軽井沢のジャムセット、六本木ヒルズ提供のシャンパンなどを狙っておりましたが、残念ながらくじ運はなかったようです。あ、景品には分厚い特許関連の本などもありまして、なんとも弁理士らしい悪戯でしょ？（笑）。その分厚い本は若い女性の先生に当たりまして、贈呈の際にはくすくすと会場内に笑いが起きていました。

お開き

ビンゴ大会も大盛況のうちに終了し、最後は、一本締めにてお開きとなりました。終始和やかな雰囲気



窓からの夜景

気の下、楽しい時間を過ごすことが出来ました。写真は、歓談の時間中に会場内から撮ったものです。まだ少し雲が残っていましたが、壁一面の窓から見える都会の夜景はとても綺麗でした。

2次会

お開き後に2次会として連れて行っていただいたBarで、幹事をされた先生より、この日弁サマーパーティは会派活動にあまり馴染みがない登録年数の若い先生にも気軽に参加してほしいと企画したんだよとの裏話を伺いました。私は六本木ヒルズの会員制クラブに釣られてノコノコとやってきたわけですが、そのことを白状しますと、作戦成功だね！と喜んでいただきました。同期合格の先生もたくさん見かけたことを報告すると、それもととても喜んでいただきました。その後は、生演奏をバックにお酒を楽しみつつ、弁理士業について、特許法の改正についての難しいお話や、その他諸々のお話を聞いているうちに、すっかり夜も更けお開きとなりました。

まとめ

さて、いかがでしたでしょうか。雰囲気は伝わりましたでしょうか。合格祝賀会以降、会派に所属してはじめて研修以外のイベントに参加させて頂いたのですが、実際に参加してみてわかったことは、受付で、会場で、2次会等で、お話をさせていただいた先生方は総じて皆やさしく、あるときは熱く、またあるときはおもしろおかしく、そして若輩者の私の話でもきちんと耳を傾けてくれる、ということです。

もし、顔見知りの先生がいない等でこれまで会派のイベントへの参加を足踏みされている先生がいましたら、今回私が参加させて頂いたような日弁クラブ主催のパーティから始めてみてもよいかもしれません。5つの会派から先生方が集まるため同期の先生に会える確率も高いと思われます。また、日々忙しく多くのイベントには参加できないよという先生もいらっしゃると思います。そういった先生方は、参加できるイベントで何らかのお手伝いを買って出してみたいかがでしょうか。今回の私は買って出たわけではないのですが（笑）、お手伝いをさせて頂

いたおかげで普通に参加するよりも多くの先輩方とお話することができました。また、裏側を少しでも拝見させて頂くと、事をぐっと身近に感じることができます。特に若い先生にはお勧めしたいと思います。私自身、このような機会を頂けて本当によかつ

たと思います。素敵なパーティを企画くださいました幹事の先生方並びに関係者の皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

以上、拙いながらもイベント参加のご報告をさせて頂きました。

靴の商品知識

福 森 智 哉 (稲門弁理士クラブ)

1. はじめに

企業の工場見学ツアーがブームである。

しかし、私が所属する靴業界で、工場見学ツアーは聞いたことがない。

まず自分が今履いている靴が、どのように作られているか知っている人は少数ではないだろうか。ましてや靴の製造現場を見たことがある人など、お会いしたことすらない。

そこで、今回は、靴作りのマニファクチャリングな現場を少しご紹介したい。

2. 靴の製法について

まず、紳士靴・婦人靴、または用途に限らず、すべての靴は大きく2つ（縫製靴、接着靴）に大別できる。

一般的に、縫製靴は接着靴に比して丈夫に作られており、底材張替等の修理が可能である。これに対して接着靴は、部分的な修理を除いて、底材張替等の修理が不可能であるため、使い捨てとなる。

縫製靴は、良いものになれば修理・手入れ次第で20年以上履き続ける人もいる。英国などでは、一族3代に亘って同じ靴を履くという人もいるそうだ。

（1）縫製靴

靴の甲革と、底材とを糸を使って縫い上げる靴である。

グッドイヤー・ウェルト製法、マッケイ製法等がある。

修理ができる、耐久性に優れるなどのメリットがある一方で、製造コストがかかる、底材から縫糸を伝っての水の侵入があるというデメリットがある。

基本価格帯は、約25,000～30,000円。

専用ミシン等を用いて作ると、マシンメイドと言

われ、職人の手のみで作る靴だけが、ハンドメイドと言われる。



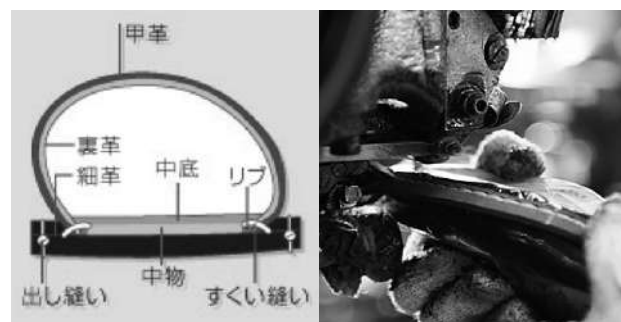
製甲作業。パーツ毎に、ミシン等を使ってつなぎあわせていく。



釣り込み作業。靴の形を決める木型に甲革を合わせる。

①グッドイヤー・ウェルト製法

アメリカ、イギリス等のブランドが好んで用いる製法である。構造上多くの部材を要するため、



堅牢・重厚というお国柄が靴のデザインにも表れる。縫製靴の中では雨に強く、修理が複数回可能。高級靴に多く用いられる製法。

甲革と、中底に設けられたリブ部とを一度縫い(すくい縫い)、地面の異物による衝撃緩和のための中物としてコルク等を入れた後に、甲革および靴外周を周る細革(ウェルト)と底材とを縫い合わせる。2度縫うために複式縫いとも呼ばれる。このウェルトを用いるため、靴の外周(コバ)が張り出し、がっしりした見た目になる。

タイヤのグッドイヤー社の社名の由来となったチャールズ・グッドイヤー氏の息子(チャールズ・グッドイヤーⅡ世)がミシン機械による製造方法を発明したため、マシンメイドによる場合、グッドイヤー・ウェルト製法と言われる。尚、旧日本軍の靴は、すべてこの製法で作られており、現在でも自衛隊の隊員の靴は、この製法の靴で作られている。

②マッケイ製法

イタリアのブランドが好んで用いる製法である。返りがよく、材料が少ないため軽量である。しかし、縫糸が、地面と直に接するため、雨水の侵入が激しい。



甲革を内側に釣り込んだあと、底材とを直接縫い合わせる。コバの張り出しがなく、スマートなデザインに仕上がるため、イタリアという雰囲気が靴からも醸される。

ちなみに、靴の内部に縫糸が見えるため、靴内部に縫糸があれば、マッケイ製法だと断定できる。

マシンメイドの靴と言っても、ハンドメイドとの

違いはミシンを用いるだけで、多くの人間の手が介在するため、オートメーション化など図れるはずもなく、いまだに“職人”的作業が多い。

ちなみに、1足を作るのに、グッドイヤー・ウェルト製法の場合、期間にして約1ヶ月、80人以上の職人の手がかかると言われている。値段が高くなる所以である。

(2) 接着靴

靴の甲革と、底材料とを糸を使わずに、接着材等を用いて接着する靴である。

接着製法(セメント製法)、ダイレクト・バルカナイズ製法、主にスニーカーなどに用いられるインジェクション製法等がある。

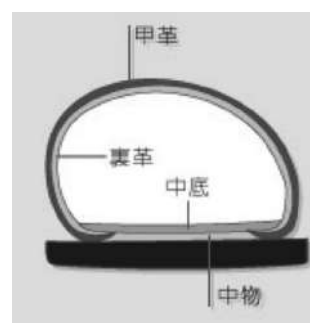
安価で、底材からの水の侵入がないというメリットがある一方で、修理が困難で、耐久性に難があり、長期間放置しておくで接着剤が破砕することもある。

基本価格帯は、約5,000円～8,000円。

①接着製法(セメント製法)

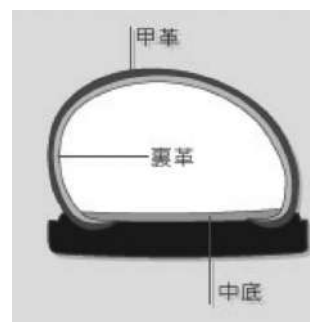
業界では、セメント、と呼ばれる製法である。

接着剤で、甲革と底材とを付けた後、ローラーで押し付ける。



②ダイレクト・バルカナイズ製法

業界では、略してDV製法と呼ばれる。



接着製法と完成形は似ているが、金型に甲革と底材とを入れ、金型の空隙に未加硫ゴム片を入れて加硫圧着する。極めて防水性に優れる。

3. 価格差が生じる理由

なぜこの靴は高いのか、安いのか、という質問に対する答えは複数あり、これだと解答できるものはない。

しかし、次のような要素が価格に影響を与えている。

①製法

2. で述べたように、縫製靴は労力がかかるために高額になりやすく、中でもウェルト製法は、最も製造コストがかかると言ってよい。また、フルハンドメイドになれば、当然価格は高騰する。

②材料

靴に用いられる材料は100以上に及ぶため、材料と言っても甲革や底材だけの話には限られない。

踵の芯を革にするかプラスチックにするか。中物（靴内部の空間の詰め物）をコルクにするか不織布にするか、またコルクは練コルクか、コルクボードか。紐は、中敷きは、縫糸は…と、拘れば枚挙に暇がない。この材料の差異のため、一般に安い靴は蒸れやすく、へたりやすい。

③ブランド

海外のスーパーブランドになると、接着靴で、材料もいいものを使っていないのに10万円を超えるような製品がある。商標による価格差は当然ある。

④関税

海外からのインポート製品は、総じて関税の影響を受けるため高額になりやすい。

4. 靴のサイズの見極め方

大きめが好き、という方もいるので、一概には言えないが、一般的には大きめの靴を履くと、靴内で余計な力が入るために汗をかきやすく、結果蒸れる。



ジャストフィットがベストであるとは思いますが、慣れるまでは実際に履いてみて店員に見てもらう方がよいだろう（店員は小さ目を勧めるように感じるかもしれないが、これはジャストフィットをすすめているのであって、在庫がそれしかないからということとは、多分、ない）。

5. 修理について

縫製靴は、原則として修理を行うことができるのがその特徴の1つである。



最後に、この修理工程を少し紹介したい。

まずは、靴底を剥がす。単に剥がす、と言っても、



専用のノミを使って、限られた職人のみが剥がすことができる。写真の方は、御年70歳を超えている“剥がしのプロ”。

靴底が剥がされ、中物が抜かれた状態（ウェルト製法）。すくい縫いと出し縫いの跡が見える。

この後は、中物を入れ替え、新品の靴を作るのと同様に、縫製して底付けをする。

このように、「修理」というよりも、むしろ用い尽くされた物を「再生産」する行為に近い。

ちなみに、甲革にわずかな切れ目が入っていると、木型に釣り込む際にそこから革が切れてしまうことがある。この場合、革当てをしなければ修理ができず、修理が出来ないか、出来たとしても高額になってしまうので注意が必要である。

6. おわりに

かつて、靴は「御誂え」、すなわちフルオーダー

のハンドメイドで、作るものであり、1か月分の給料ほどの大金を出して買うものであった。時代の流れの中で大量生産化がされるようになったわけだが、それでも他の業界の製品に比べれば日産量は極めて少ない。

もちろん、量産品となったことでいい面（価格面等）も多分にあるわけだが、「御誂え」による靴の履き心地を一度味わうと、もう安物には戻れない。

「御誂え」で靴を作ると30万円程度してしまうが、最近では、「九分仕立て」と言って、釣りこみ等は職人の手で行い、最後の底付け作業のみをミシンを用いて行うものがある。これであれば「御誂え」に近い感覚を味わえる。10万円程度はかかってしまうが、一度是非試して頂きたい。

私の拙筆で、どれだけ伝わったかは分からないが、少しでも靴作りの現場の雰囲気が感じられたら筆者としては望外の喜びである。

同期商標会の開催価値はあるのか？

高橋 伸也（稲門弁理士クラブ）

はじめに

会員の皆様、はじめまして。私は、平成24年度合格の高橋伸也と申します。日頃はかわいいかわいい子供（2）の世話に追われ、これまで会に貢献する機会がなかなかありませんでしたので、この度本稿執筆の機会を頂戴し大変ありがたく感じています。

さて、この度お話しいたしますのは、私が幹事をしている平成24年度弁理士試験合格者の商標勉強会についてです。まずは、その誕生経緯をお話します。

通常弁理士試験に合格しますと、合格者は、私が所属している稲門弁理士クラブをはじめとした日本弁理士クラブの諸会派の合格祝賀会をまわり人脈を形成していくわけですが、そこに出席する人たちは同期の中でもお酒が好きな、いや、社交的かつ意欲的な人が多かったこともあり、自然と同期の間で種々の企画を立てて楽しんだり勉強したりという流れが生まれてきました。そんな中、商標に携わる同期の間でも同期商標会の開催待望論が出て久しかったところ、私が幹事として名乗りを上げ、現在の定期開催に至っている次第です。そう、子育ての関係でスケジュールリングが難しいことから、幹事権限で自分の都合のいい日を指定して開催したいという私の密かな目的は見事に達成されたのでした。

本稿では、そんな同期商標会が参加者にどんなメリットをもたらしているのか、ひいてはその開催価値があるのか検討を行って参りたいと思います。な

ぜならば、商標に関しては既に種々の委員会や勉強会等が存在する中で、皆が忙しい中時間をやりくりして会に参加してくれているにもかかわらず、同期商標会の意義を再検討した結果そのメリットが十分に認められないとすれば、会の廃止すら検討した方がよいと思われますし、何より、どんなにいい会なのかを同期以外の会員の皆様に自慢したいからです。

メリット1 多様な経験や観点の共有

同期商標会には、さまざまなバックグラウンド及び経験を有している弁理士が参加しています。たとえば、事務所勤務の弁理士一つ取っても、内内を主として業務を行っている者、内外若しくは外内中心の者又は商標事務という形で携わっている者等さまざまですし、事務所の規模も大手から小規模事務所まで千差万別です。他にも、企業内弁理士として活躍している者はもちろんのこと、日頃は特許を主たる業務としている者も少なからず参加してくれています。

会では、日頃の業務の中で感じた疑問点、勉強しているうちに遭遇したおもしろい論点、各種セミナーに出て触れた情報等を相互に紹介し、それらを題材としてみんなで議論していきます。もちろん、商標実務の最前線で戦っている人々のやりとりは専門的で、実務上参考になるだけでなく知的好奇心も大いに満たされるものであると言えます。一方、上述したようにさまざまな方がいますから、実務経験に乏しい方からは基礎的な質問が出ることもありますが、それに対し噛み砕いて回答しようとするとなかなか正しく正確に説明し切れない点が出てきたりして焦ることもあります。そして、そういう点に関しては基礎に立ち返り学び直し、将来的にクライアントから類似の質問があった場合に滞りなく説明できるよう準備をすることとなります。つまり、メンバー間



の実務経験の幅は大きくとも、互いに刺激を与え合い、皆が貢献することができているのです。

やや抽象的な説明に終始したので、議論の流れの一例を出してみたいと思います。まず、経験の浅い者が疑問を提起し、経験豊富な者はそれに対し自己の経験に基づき見解を述べます。さらにそれに対し、商標を普段業務としていない者が受験生時代の知識を引っ張り出して意見を出します。経験を有する人々も、原点に立ち返るその視点に学びを得て、会の後に審決や裁判例を調べてよりがっちりした見解を提供します。もちろん、根拠とした審決や裁判例のURLはみんなで共有します。ほら、おもしろいでしょう？

メリット2 情報の効率的収集手段

これは、各種会合に共通することだとは思われますが、情報を効率的に収集し吸収していくことができるという意義があります。これには大きく分けて二つの側面がありまして、一つには、能動的アプローチとして、自分が情報収集上困っている内容について、メンバーの知恵を借りることができるということが挙げられます。たとえば、悩んでいるポイントについて、参考になる審決はないか、また、他のメンバーはどう考えるのかといったことを聞き、それについての考察を深めることができます。もう一つの面としては、受動的なアプローチとして、上述したような多彩なメンバーが、それぞれのアンテナにひっかかった有益な情報を提供してくれるということが挙げられます。メンバーは皆キャリアが浅い者が多いと言えど、それゆえ情報収集意欲は旺盛ですから、有益な情報がシェアされていくわけです。

次に、情報をシェアする手段についてお話しします。定例開催の会合が基本となっておりますが、それのみにとどまらず、メーリングリストやLINEグループ等を駆使して情報共有を行っています。よって、タイムリーに情報が得ることができるのです。

なお、こうした情報共有の状況を客観的に観察しておりますと、中心となって質問したり回答したりする人物（大感謝！）は存在しますが、メンバーのそれぞれが、貢献できるポイントを探して積極的に参加しようという意識を持っていることが見て取れます。ここに有益な情報を囲い込みせず積極的に

シェアして同期全体のレベルを上げていこう、ひいては弁理士業界に更なる貢献していこうというメンバーの強い意志を感じ取ることができます。

メリット3 飲み会で楽しさの共有

勉強会後には、飲み会を開催してパーっと騒ぎます。これが目当てで会に来る者もいれば、勉強会には出席せず飲み会だけ参加する者もいます。ここで同期商標会のメンバーの結束が強まり、次の会へのモチベーションが養われるのです。そして、飲み会だけ参加するような輩も、飲み会で勉強会の内容の楽しそうな振り返りを聞く中で改心し、次は勉強会から参加しようと心に誓うのです。

私はあまりお酒が強くなく、どんな内容を話したのか記憶がおぼろげだったりするのですが、飲み会での会話の内容は商標についてはもちろんのこと、各種情報交換、くだらない話などさまざまです。要は、楽しい飲み会です。そんな楽しい時間を共有したメンバー間では強固な仲間意識が醸成され、それ以後、さらに上述した相互の情報提供等が盛んに行われることになります。その意味で、飲み会は勉強会をさらに価値あるものにする上で不可欠な存在であり、意義深いものと言えます。

おわりに

以上、自己流で同期商標会の価値につき検討を行った結果、同期商標会の価値は何物にも代えがたく、同期弁理士のみならず弁理士業界、ひいては社会全体に寄与していくものであることがわかりただけかと思います。私の存命中はぜひ開催し続けていきたいと思っておりますので、同期商標会の皆様、今後もよろしくお願いします。そして、私と同じ平成24年度弁理士合格者で、商標に関心のある方ならどなたでも参加資格がありますので、是非参加いただければと存じます。

なお、個人的には、今後は前後の合格年の方々をはじめとして、他世代とも積極的に交流していければいいなと考えていたりします。他の世代にもこのような同期商標会は存在するのでしょうか？もしあるようでしたら、私にでも、私以外の商標系の平成24年度弁理士合格者の誰かにでもご連絡いただければ幸いです。

魔獣バラナーゴと私

伊 丹 壮一郎（南甲弁理士クラブ）

1. はじめに

皆様は、魔獣バラナーゴを御存じでしょうか。魔獣バラナーゴは、スリランカのジャングルの奥深くに眠る伝説の生物であり、探検家兼俳優の、故川口浩さんにより、その存在を確認された。

魔獣バラナーゴは、蛇ともトカゲともつかない謎の生物であると言われている。私が川口浩さんのDVDによって確認した所、体長は、尻尾の部分抜きせば50cm～1m程度、尻尾の部分を入れると1m50cm～2m程度はあるものと思われる。

筆者は高校の頃、細胞の構成要素（ゴルジ体やリボソーム等）を暗記することが出来ず、生物学に苦手意識を持ち、その成績は酷いものであった。これにより、筆者は、人生の比較的初期の段階において、生物学とは袂を別つ決意をした。分類学の知識など、あるはずもない。

しかしながら、筆者は、この魔獣バラナーゴを蛇かトカゲかどちらかに分類してみたいと言う欲望を止めることが出来なかった。本稿では、素人である筆者の探求の軌跡を御覧いただきたいと思う。御時間のある方だけで良いので、暇つぶし程度に読み飛ばしていただければ幸いである。

2. 魔獣バラナーゴとの出会い

まず、筆者と魔獣バラナーゴとの出会いについて、軽く触れておきたい。そもそものきっかけは、もうすぐ同棲3年目の彼女から、俳優の藤岡弘、さんが出演するテレビ番組の話聞いたことがきっかけであった。

筆者は、事務所の先輩であるk永先生にその事を尋ねてみた。するとk永先生は、瞳を輝かせながら、探検家、川口浩さんの事や、川口浩さんが繰り広げた冒険劇のことを教えて下さった。そして、その次

の日、以前購入されたDVDを貸して下さった。

筆者は、彼女と共に、文字通り手に汗を握りつつ、川口浩さんの壮絶な冒険を鑑賞した（筆者は、手足に良く汗をかく方であり、夏場には水虫を警戒して、主にサンダルで過ごしている。）。スリランカの奥地にあるジャングルでは、実に壮絶な冒険が繰り広げられた。そして、筆舌に尽くしがたい大冒険の果てに、川口浩さん率いる探検隊は、ついに魔獣バラナーゴを発見した。それが、筆者と魔獣バラナーゴとの出会いであった。

3. バルカンヘビガタトカゲについて

蛇とトカゲの境界についての理解を助けるために、バルカンヘビガタトカゲ（又はヨーロッパアシナシトカゲ）と言う動物を紹介させていただきたい。

つい先日、ライオンもキリンもないことで有名なある伊豆の動物園を、彼女と共に訪れた時のことだった。我々は、暗闇の中に浮かぶ四角いガラスケースの中に、奇妙な魔獣を確認した。その動物は、一見すると蛇の様な形をしており、手足を有していなかった。太さは筆者の足首と同程度であり、色はクリーム色の、アルビノの様な色であった。

この動物は、バルカンヘビガタトカゲ（又はヨーロッパアシナシトカゲ）と言い、その外見に拘らず、蛇では無くトカゲの仲間に属している。何故手足が無いのに蛇の仲間に分類されているのかと言えば、①瞼があり、②耳の孔があり、③自らのシッポを切り離す、トカゲに特有の行動をとるからであるらしい。

上記動物園を訪れた際に購入した図鑑を確認した所、確かにコブラにもニシキヘビにもアナコンダにも、瞼や耳の孔がついていなかった。それに対し、バルカンヘビガタトカゲには、確かに瞼が付いてい

た。蛇の様な胴体に蛇の様な頭が取り付けられており、その頭に埋め込まれた目に瞼があると言うのは、改めて見てみると、思いの外目立つ特徴であった。誤解を恐れずに言えば、若干気色悪い外見であった。

このように、①瞼の有無、②耳の孔の有無及び③上記行動の有無による判断基準は、魔獣バラナーゴをトカゲ又は蛇と結論付ける上で、有力な手掛かりになるものと考えられる。

4. ミミナシオトカゲについて

しかしながら、筆者は、早くも次のハードルに直面した。何かと言えば、上記判断基準は、必ずしも全てのトカゲや蛇に当てはまるとは限らないらしいのである。その現実を筆者に突き付けたのが、珍獣ミミナシオトカゲの存在であった。

ミミナシオトカゲは、トカゲの様なサンショウウオの様な概形を有しており、また、どうやら瞼をも有している様である。しかしながら、ミミナシオトカゲは、その名の通り、耳の孔を有していない。つまり、ミミナシオトカゲは、上述した判断基準を全て満たしていないのにも拘らず、トカゲに分類されているのである。

尚、上述した図鑑によれば、ミミナシオトカゲは謎の多い生物であり、その分類上の位置づけも永い間の論争の果てに決まったものらしい。生物学者の先生方でさえ、このような珍獣を前にしては、容易に結論を出すことが出来なかった。まして、筆者が挑もうとしているのは、謎の珍獣である。筆者は、多難な前途を思い、気が遠くなるようであった。

5. 足のある蛇について

ここに来て筆者は、ある点に気付いた。それは、バルカンヘビガタトカゲの存在によって判明した最も大きな点が、「足が無ければ必ずしも蛇と言うわけではない」と言うことであり、「足のある蛇がいる」と言うことを示している訳では無いのである。

そこで筆者は、約5分間にわたる電腦空間の探訪の末に、「足のある蛇はいない」と言う結論に達した。

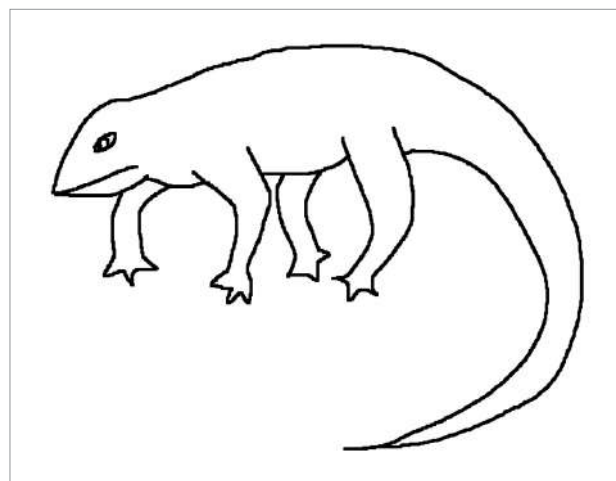
蛇足ではあるが、いくつかの種類の蛇の骨格には、退化した足の痕跡が認められるらしい。

以上の点に鑑みると、蛇かトカゲかの判断基準は、下記の様に修正されるものと考えられる。

- (1) 足がある場合には、トカゲである。
- (2) 足がなくても、①瞼があり、②耳の孔があり、③自らのシッポを切り離す、トカゲに特有の行動をとる場合には、トカゲである。
- (3) 足がなく、①瞼も無く、②耳の孔も無く、③上記トカゲに特有の行動をとらない場合には、蛇である。
- (4) それ以外の場合には、生物学者の先生方の討論の対象となる。

6. 魔獣バラナーゴは蛇かトカゲか

魔獣バラナーゴは、おおよそ下図の様な見た目をしていた。



上図から明らかな通り、魔獣バラナーゴは、足を有していた。従って、魔獣バラナーゴは、少なくとも蛇では無く、恐らくトカゲであると考えられる。尚、瞼や耳の孔の有無について、筆者は記憶していない。また、DVDを見た限り、自らの尻尾を切る行為は、確認できなかったように思う。

7. 最後に

良かれと思って冗談で書きました。まっとうな御指摘等は、御勘弁ください。

監督論

上 田 侑 士 (南甲弁理士クラブ)

1. 監督

応援しているチームのふがいない結果に「俺があのチームの監督を!」、などと考えたことはないだろうか。私はある。何度もある。オーダーを考えて、お気に入りの選手を鍛え上げて一流選手にして、黄金時代を築いてみせると、夢は膨らむ。夢で終わってしまう夢ではあるが、夢ぐらいは見させてほしいものである。

監督は、結果が良ければ多少の賞賛を得るだろう。一転して結果が悪ければ、酔っぱらいのおじさんから強烈なヤジを浴びせられ、無責任な評論家から無責任になじられて、マスコミからさんざんにたたかれる。そして、挙句の果てには全責任を押し付けられ解雇されてしまう。なかなかつらい立場である。はたから見ているほど楽な立場ではない。

それでも、陣頭に立って采配を振るう姿には、なんだか憧れる。自分には資質があるのか、そもそも名監督とはどのような監督なのか、などと余計なことを考えてしまう。お酒が無くとも朝方まで語れるテーマである。

今回は、日々の研究の成果を活かして、この文章を読んでいただいている方が監督になったと仮定して、監督が発揮すべき能力について簡単にではあるが語らせていただきたい。

2. 監督権限

監督が発揮すべき能力について語らせていただく前に、まず、監督はなぜ矢面に立たなければならぬのかという点について考えた。これについては、答えは簡単だ。現場のトップであり、さまざまな権限が与えられており、現場では絶対な存在であるからであろう。権限を持っているから責任が伴う。結果も問われる。自分の好き勝手にできる自由があれ

ば、必然的に責任が伴うという世の中の仕組みの1つである。なので、この場で深く追究するほどのことではないと思う。

ただ、その権限の内容の主要な項目については、はっきりさせておく必要がある。なぜならば、監督はこれらの権限の内容に応じた能力が必要とされるからである。すなわち、権限の内容と良い結果との間には深い結びつきがあるからだ。

そこで、権限の内容を大別してみることにする。大きく分けて考えれば、試合における権限と、試合とは切り離された権限と、になるだろう。より具体的に言えば、権限は、スターティングメンバーや交代指示や試合中のサインなどを含む『采配面』と、育成プランや補強プランや練習方針やチームカラー方針などを含む『チームマネジメント面』と、に大別することができると考えられる。

さて、大別されたこれらの権限に対してどのような能力が必要とされるのだろうか。

3. 監督に求められる能力

(1) 采配力

まず、采配面にて必要な『采配力』についての見解を述べる。采配はあくまで結果論にすぎない部分がある。緻密なデータによって裏付けされた采配なのか。天運により導かれた采配なのか。いずれにせよ、采配は当たり外れがあって当然の部分があるが、積み重なった結果が采配力の優劣を物語る。

ここで、重要な点は、采配面は大きく分けて2つの派に分かれる点である。『理論派』と『天性派』である。『理論派』は、その名の通り、データを駆使して采配を振るうタイプである。

具体的に名を挙げて説明すれば、『理論派』の代表格は野村克也氏であろう。他にもサッカーの監督に

は理論派が多いように思う。また、『天性派』は、自身の感性に基づいて采配を振るうタイプである。『天性派』の代表格は長嶋茂雄氏であろう。その他、『天性派』には「木内マジック」などで有名な木内幸男氏を筆頭に高校野球の監督に多いように思う（単に天性で済ましてしまうには失礼かもしれないが）。『天性派』は、極限の状況で冴えを見せることが多いことから、ペナントレースのような長丁場には向かず、短期決戦にて力を発揮するタイプであろう。

天性で采配を振るうことができる自信のある方は、采配面の素質は十分に備わっているといえよう。ただし、ほとんどの人間はこのような天才的な感性を持ち合わせてはいないはずである。したがって、理論派監督にならざるを得ない。すなわち、多彩なデータを収集する能力と、その収集したデータを処理できる能力と、を身に付けて置く必要がある。

もしあなたが、多彩なデータを収集する能力と、その収集したデータを処理できる能力とを持ち合わせていない場合には、どうするのか。簡単である。優秀なブレーンを抱えることで解決するか、はたまた酔っぱらいのおじさんから強烈なヤジをちょうだいして、さっさと夢の時間を終わらせるのか、いずれかによって解決するしかないであろう。

（２）チームマネジメント

次に、チームマネジメント面にて必要な『チームマネジメント力』についての見解を述べる。チームマネジメントには、チームを管理し強化する能力が大きく問われる。チームのどの部分が弱点でありどの部分が強みであるのか、現在のチームが成長段階であるのか成熟段階であるのか下降段階であるのか、これらを理解した上でどのようにチームを構成していくのかを決定していく、この能力が問われることになる。

また、マネジメントするときに、自分の理想とするマネジメント方針に向かって周囲の人間をうまく誘導することができるという能力も必要である。具体的には、資金を動かすことができるオーナーに対して自分の要望や希望をうまく飲み込ませることができるような八方美人的能力が必要になる。八方

美人的能力といえば、聞こえは悪いかもしれないが、懐に入り込める性格はチームマネジメントには欠かせない。

この手の能力に秀でている近年の代表的な監督としては、星野仙一氏が挙げられようか。星野仙一氏は、成長段階のチームをしっかりと成熟期に到達させ、そして要所を補強でカバーして、しっかりと結果を出してきた監督だと思う。

もしあなたがマネジメント力を持ち合わせていないのであれば、長期的な政権維持を望むことはできないだろう。１年で全選手をつぶすくらいのつもりで結果を出しにいき、英雄として勇退していくことをお勧めする。

（３）信頼される力

監督の権限に絡めて『采配面』と『チームマネジメント面』から監督として必要な能力を述べてきたが、これら以上に必要とする能力があると考ええる。それが『信頼される力』である。監督を信頼しているチームというのは、１つの目標に向けてチーム一丸となって突き進むことができるようになる。一丸となっているチームほど強いものはない。逆を言えば、弱いチームほど内部がバラバラになっているものなのである。

信頼される人の特徴は、３つの派に分かれる。『言葉をうまく使える派』と、『背中で語る派』と、『コミュニケーション派』とである。

『言葉をうまく使える派』は、外国の監督に多いイメージがある。例えば、元マンチェスターユナイテッドの監督であったファーガソン氏が挙げられる。この手のタイプは、自身の経験や実績がもとになり、信仰心を生み出すのがうまいタイプである。

対して、『背中で語る派』は、多くを語らず、寡黙でありながら、主義主張に一貫性があるタイプである。例えば、元中日ドラゴンズの監督であった落合満博氏が挙げられる。『背中で語る派』は、徹底した自らの主義を貫き、その主義に乗ることができさえすれば使ってもらえるという単純明快な構図を選手に与えることにより、信頼を得るタイプといえよう。すなわち、ブレない姿勢が要求される。落合氏のブ

れない姿勢は実に見事であった。

そして、『コミュニケーション派』は、「この人のためなら」と思わせるようなタイプである。言い換えれば、人としての距離間を縮めることができるタイプである。この手のタイプは、高校野球の監督などに多いように思う。

自分が信頼される力を備えていないと自覚しているのであれば、信頼を得ようとする行動を起こすのではなく、すぐに監督としての職を辞することをお勧めする。信頼される力の大部分は資質で決まる。したがって、信頼を得ようとする事自体が筋違いなのである。大多数の監督が堕ちていくように、信頼を得ようとする行動により多少の信頼を得られた

としても人としての本質は変わらないのだから、結局のところ時間がたてばほころびが出てくるのである。

4. 終わりに

いつの日か、一般人からの監督募集を行う球団が出てくるのではないかとふんでいるのは私だけであろうか。DENAあたりがやってくれるのではないかと、期待している。その時には、上で紹介した3つの能力を兼ね備えたS先生を他薦で応募しようと企んでいる。選ばれてしまった際には、ご容赦願いたい。

また、あくまでこれらの見解は私見である点についてご理解いただきたい。 了





このコミック＆アニメが面白い！

野田 薫 央 (P A 会)

1. はじめに

オタク弁理士の野田です。2011年と2013年の会報でも「このコミック＆ラノベが面白い！」と題して、私が好きなコミックとライトノベル計8作品を紹介しましたが、覚えているかたはいらっしゃいます

か？ なぜか今年もまた執筆依頼がありましたので、今回も私が好きなコミック・アニメ作品を紹介させていただきます。日本が誇るオタクコンテンツに少しでも興味を持ていただければ幸いです。

2. コミック編



©吉田秋生／小学館フラワーズコミックス

題名	海街diary
著者	吉田 秋生
巻数	既刊 6 巻

社会人の3姉妹と、彼女たちの父が不倫・離婚の末に生まれた中学生の異母妹すずとが、両親の死後に出会い、古都鎌倉を舞台に4姉妹として生きていく群像劇。人の生死、家族の絆、金銭問題等、ありふれているが切実な問題の中で人が成長していく姿を個性的な登場人物の視点で淡々と描く。2014年7月に前巻から約2年ぶりに待望の最新6巻が発売。2007年の文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞、マンガ大賞2013等を受賞。2015年に実写映画も公開予定。

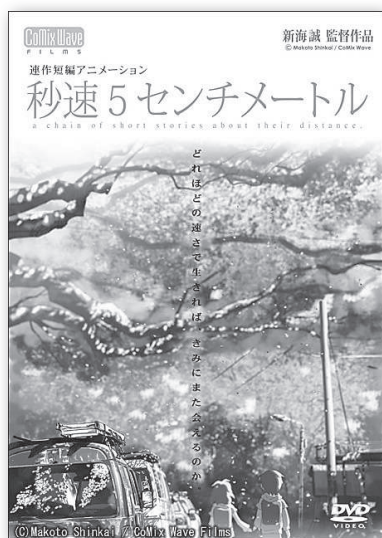


©漆原友紀／講談社

題名	蟲師
著者	漆原 友紀
巻数	全 10 巻 + 特別編 1 巻

とても不思議な作品。普通の人には見えない蟲(小さな怪異)の影響を受けた人々や蟲を原因とする奇妙な事象に対処する蟲師ギンコの活躍を描く。大自然や蟲に翻弄されながらも強く生きる登場人物や、蟲に関する知識で人々を救うギンコが魅力的。独特の淡い絵柄もストーリーにマッチ。2008年の完結後、2014年に特別編も刊行。2003年の文化庁メディア芸術祭・漫画部門優秀賞、2006年の講談社漫画賞等を受賞。2005年と2014年にテレビアニメ化、2007年に実写映画化。

3. アニメ編



©Makoto Shinkai / CoMix Wave Films

題名	秒速5センチメートル
監督	新海 誠
BD/DVD	コミックウェーブフィルム
時間	63 分

海外でも人気が高い新海誠監督の2007年の恋愛作品。同監督のデビュー作「ほしのこえ」と同様に遠距離恋愛がテーマの1つになっており、恋愛のどこかしさがリアルに伝わってくる。「桜花抄」「コスモナウト」「秒速5センチメートル」の全3話で構成され、主人公も小学生→高校生→社会人と成長していく。新海作品は絵の美しさも魅力だが、本作の桜のシーン等も眩い美しさ。山崎まさよしの主題歌「One more time, One more chance」も心に染み入る。2007年のアジアパシフィック映画賞「Best Animated Feature Film」を受賞。



©2012 宇宙戦艦ヤマト2199 製作委員会

題名	宇宙戦艦ヤマト2199
監督	出渕 裕
BD/DVD	バンダイビジュアル
話数	TV シリーズ全 26 話

往年の名作「宇宙戦艦ヤマト」を2012年に38年ぶりにリメイクした作品。私は小学生の時に劇場で「さらば宇宙戦艦ヤマト」を見てオタクに堕ちたので、個人的に感慨深い。主題歌も昔と同じで思わず口ずさんでしまう。もちろん波動砲（次元波動爆縮放射機）も健在。一方で今回のリメイクにあたって登場人物が増え（特に女性キャラ）、設定も大幅に見直され、旧作のファンにとっても見所が多い。特に最新CGによる宇宙戦艦同士の戦闘描写は圧巻。2014年12月に新作劇場版「星巡る方舟」も公開予定。

4. まとめ

今回は、コミック2作品に加え、私の本業（？）であるアニメからも2作品を紹介させて頂きました。ちなみに過去の会報でもコミックから『3月のライオン』『バクマン。』『うさぎドロップ』『ヨルムンガンド』、ライトノベルから『化物語』『涼宮ハルヒの憂鬱』『星界の紋章』『半分の月がのぼる空』の計8作品

を紹介していますので、興味のあるかたは日弁ウェブサイトの過去記事をご覧ください。

なお、今回も各出版社等に表紙画像の使用許諾をお願いしたところ、快諾していただきました。感謝申し上げます。

大学院へいこう！ ～一橋大学大学院 国際企業戦略研究科～

齋 藤 誠 (PA会)

1. はじめに

日本弁理士会発行の研修所NEWSで、毎年夏と冬に掲載される“一橋大学大学院国際企業戦略研究科 経営法務専攻 修士課程『知財戦略講座プログラム』のお知らせ”の記事を見たことのある方も多いのではないのでしょうか。私は、4年前にこの記事を見て応募し、2年間の通学を経て昨年、修士課程を修了しました。仕事、家庭と両立しながら勉強するのは、きつい面もありましたが、自分にとっては非常に有意義で充実した2年間でした。大学院に興味をお持ちの方の参考になればと思い、その経験を述べたいと思います。

2. 入学動機について

当時、私はIT系企業の法務部門において知的財産業務に加えて、国際法務も兼務で担当しておりました。独学でビジネス法務を勉強したり、実務で覚えたりしておりましたが、技術系出身であったため、知財を含めビジネス法務全体を包括的にしっかり体系的に覚えたい欲求が以前からありました。そんな中、前述の研修所NEWSで、一橋大学大学院国際企業戦略研究科 経営法務 修士課程（以下、ICSといいます。）を知り、『これだ！』と思い、入学を志しました。ICSなら、知財だけでなく、国際法務も含めたビジネス法務全般が学べます。場所も千代田区一ツ橋の学術総合センターの中にキャンパスがあり、通学にも便利な場所にあります。また国立大学なので学費が私立の1/3程度で済みます。少人数のクラスで超一流の教授・講師陣の講義が受けられます。こんな好条件を逃すわけにはいきません。

3. 入学まで

入学を決心した後、応募期限まで時間が無かったことから、急ぎ出願書類を準備して申込みました。

出願書類準備で意外と大変だったのは研究計画書

の作成です。研究計画書では、研究したいテーマ、それを選択した理由と目的、具体的な研究の進め方、テーマ選択にあたり読んだ文献リストなどをA4で3～5枚程度で記載する必要があります。研究したいテーマはすぐ決められたのですが、関連する文献を探して何冊も読んで作成するため、結構な時間が取られました。申込後、1次の書類選考、2次の面接を経て合格発表があり、晴れて入学となります。私は2011年度の入学ですが、経営法務（知財戦略プログラム）で6名、経営法務全体では、約30程度でした。ICSの学生は、20～50代の幅広い年齢層の現役のビジネスパーソンから構成され、公的機関及び企業勤務の方、弁護士、弁理士、公認会計士など士業の方などバックグラウンドは様々です。

4. 修士課程1年目（M1）

ICS経営法務の講義は、平日夜間のみで、月曜～金曜の18時20分から21時30分までの2コマから構成されています。水曜はゼミの日で、知財戦略プログラムの修士及び博士課程の学生が一同に出席して、毎週順番に4名ずつ研究進捗を発表します。講義科目の方は卒業のために22単位以上の取得が必要で、加えて知財戦略プログラムの学生は、22単位のうち8単位は知財の講義から取得する必要があります。私は2年目に忙しくなって履修できなくなる可能性も考えて、1年目で最低限必要な22単位は取得しておきました。（これが後で功を奏しました。）履修科目としては、知財では特許法、侵害訴訟、著作権法、エンタテインメント法等を、知財以外では、独占禁止法、会社法、国際税務、国際法務戦略、M&A、ベンチャー企業と法、倒産関係法、労働法、アメリカンビジネスロー等を選びました。どれも実務に直結する講義であり、現在の業務に役立つばかりでした。また、講義の形式も履修生が順番に各自課

題を調べて発表する形式や、グループでの演習・討議形式など参加型なので、自ら考えて答えを出す工夫がなされており、楽しみながら身に付く勉強をすることができます。これは学生が少人数だからこそ可能なのだと思います。それにしても、あっという間の1年でした。

5. 修士課程2年目 (M2)

2年目も履修したい科目があったのですが、会社で発明発掘・特許出願に注力するため技術部門に異動となり、案の定、昨年以上に多忙となってしまいました。そこで、前述の通り、1年目で最低限の講義単位数はクリアしていたので、2年目の講義科目履修はあきらめて、卒業に必要な修士論文の研究・作成に集中することにしました。私の修士論文テーマは『米国における複数当事者が実施に関与する発明の特許権侵害に関する研究』です。米国における、クレームの構成要件を複数の第三者で分担して無断実施した場合の侵害認定に関する研究です。特に通信回線を介して接続されるサーバや情報端末から構成される所謂ネットワーク関連発明において問題となります。日本と比較して、米国の方が判例も多いことから、米国に絞って研究を行いました。米国ではこのような侵害形態を『Joint Infringement』

『Divided Infringement』と呼んでいます。なお研究中に、研究テーマに関係するCAFC大法廷再審理判決(Akamai Techs., Inc. v. Limelight Networks, Inc., (Fed. Cir. 2012) (en banc), McKesson Techs., Inc. v. Epic Systems Corp., (Fed. Cir. 2012) (en banc)) が丁度でしたので、結果的に非常にタイムリーな研究を行うことができました。研究活動は、ゼミで研究の進捗報告を定期的に行い、教授・准教授の指導を受けながら進めていく形式です。実務だとインターネットで関連記事を検索して調べたりしますが、研究では、大学から“LexisNexis”などの判例検索データベースの無償アカウントが提供されますので、これをリサーチツールとして、関連する論文、判例(原文)、特許公報(原文)、米国特許法体系書『Chisum on Patents』など網羅的に広く検索し、深く読み込んで調べていきます。英語漬け状態でフラフラでしたが、信頼性の高い文献を多く読み解き、引用しつつ、知

識を積み上げて新しい知見を探究することに試行錯誤しながら没頭しました。そして夏～秋ごろから教授の指導を受けながら論文の執筆を開始します。提出期限が正月明けなので、年末年始は、ほぼ家に籠って最後の仕上げです。ここが最後の踏ん張り所となります。そして論文提出後は研究成果についての面接があり、これに合格して晴れて修士課程修了となります。全て終わったときには、達成した嬉しさと、学生生活が終わる寂しさが入り混じった複雑な気持ちでした。

6. 仕事・家庭

まず仕事ですが、あくまで自分の興味のため通学しましたので、仕事への影響は可能な限り抑える必要がありました。1コマから出席の日は定時退社する必要があります残業ができません。そのため勤務形態がフレックス制でしたので朝7時に会社へ出社して仕事をしました。当初は朝型に切り替えるのがつらかったですが、時間とともに慣れ、慣れてしまえば朝型の方が能率の良いことがわかり、卒業した後も朝型勤務を継続しています。

また、家族には弁理士試験→付記試験→大学院と迷惑をかけっぱなしでしたが、通学を許してくれた妻には感謝しています。

7. 最後に

ICSに限らず、職場から離れて、大学院というアカデミックな環境で学ぶことは、知的な刺激を受けるとともに、広い知見が得ることができる大変良い機会だと思います。興味のある方は是非トライしてみてはいかがでしょうか。





判例について

亀崎 伸 宏（無名会）

〇〇事件の〇〇がどのような物であるのか気になっていたので、少し調べてみました。一読いただければ幸いです。

アースベルト

～最判昭63・7・19（昭61（オ）30・31号）～

自動車用接地具。車体の静電気を逃がすために、地面に垂らして用いるもの。当時は流行したが、今はほとんど見ない。

ウォーキングビーム式加熱炉

～最判昭61・10・3（昭61（オ）454号）～

スラブ（鉄鋼の塊）を搬送しながら加熱する装置。一般に、長さが30m以上の長尺炉。複数のウォーキングビームと複数の固定ビームが、スラブの搬送方向に沿うように、かつ、互いに幅方向に交互となるように配置されることで床を構成している。ウォーキングビームが、ボックスモーション（上昇→前進→下降→後退）を繰り返すことで、スラブを搬送する。

カリクレイン

～最判平11・7・16（平10（オ）604号）～

カリクレイン（キニノゲニン、キニノゲナーゼとも、kallikrein、EC 3.4.21.34・EC 3.4.21.35）：血圧低下に関するタンパク質分解酵素の一種。血漿カリクレインと腺性カリクレインの二つに分類される。タンパク質としてはセリンプロテアーゼ、エンドプロテアーゼに分類される。(Wikipedia)

クロム酸鉛顔料

～最判平12・1・27（平7（行ツ）105号）～

クロム酸鉛：化学式 PbCrO_4 ニクロム酸カリウムの溶液に酢酸鉛を加えて得る美しい黄色の結晶。黄

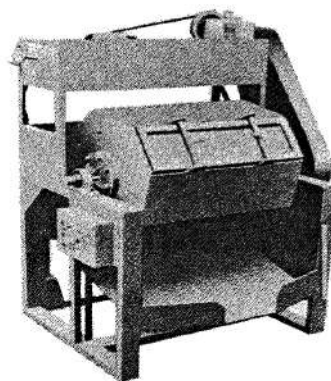
色顔料として広く用いる。黄鉛（おうえん）。クロム-イエロー。(広辞苑)

顔料：① (pigment) 一定の色に着色する物質。混合する物質と作用せず、水・アルコールなどに溶けず、所定の色を呈する不透明物質で、金属塩などの無機顔料と、染料のレーキなどの有機顔料がある。塗料・印刷インク・化粧品原料とし、プラスチック・ゴムなどの着色に用いる。②絵具。(広辞苑)

高速巡回式バレル研磨法

～最判平4・4・28（昭63（行ツ）10号）～

バレル研磨：めっき前の研磨の一。バレル（樽）に加工物、メディア、水、及びコンパウンドを投入し、バレルの運動により、加工物の研磨を行う方法。



（電気めっき加工全般に係る技術テキスト（産業技術総合研究所））

人工乳首

～東京高判平15.10.8（平14（行ケ）539号）～

乳幼児がミルクを飲むために哺乳瓶に取り付けられるもの。

大径角形鋼管

～最判平11・3・9（平7（行ツ）204号）～

鋼製の角パイプで大形のもの。「だいけいかくがたこうかん」と読む。

無限摺動用ボールスプライン軸受

～最判平10・2・24（平6（オ）1083号）～

摺動：滑らせながら動かすこと。正しくは「しょうどう」と読むが、特許業界では「しゅうどう」と読まれている。

スプライン軸：(spline shaft) 軸身に多数の溝を切ってキーと軸とを一体にした形の軸。重い荷重に耐え、確実・堅固である。溝付軸。(広辞苑)

ボールスプライン軸受：ボールの転がり運動を利用してスプライン軸上を直線運動する軸受。

メリヤス編機

～最大判昭51・3・10（昭42（行ツ）28号）～

メリヤス：綿糸・毛糸などをループ状の編み目の集合により、よく伸縮するように編んだもの。表と裏と編み目が異なる。(広辞苑)

メリヤス編み：「表編み」に同じ。(広辞苑)

表編み：棒針編みの基礎編みの一。メリヤスの表と同じ編み目があらわれるもの。(広辞苑)

リパーゼ

～最判平3・3・8（昭62（行ツ）3号）～

中性脂肪を脂肪酸とグリセリンとに加水分解する酵素。エステラーゼの一。動物の肺や脂肪組織、血清、特に脾臓・脾液に多く、消化酵素として働く。植物ではトウゴマの種子中やコムギ・ダイズなどに含まれる。(広辞苑)



山ガール

中 村 希 望（無名会）

山ガール（やまガール）とは、かつての登山用品とは異なるファッショナブルなアウトドア用衣料を身に着けて山に登る若い女性のこと。（Wikipediaより）

自分がこの定義に一体入るのか不明だが、この歳になって筆者は自称山ガールになった。しかもGMC（Gunma Mountain Climb）なんていう愛好会まで作って（？）しまった。ちなみに私は勝手に副部長を名乗っている。

GMCの活動要員は群馬在住の女子5～6人。GMCの加入要件は、群馬在住の女子で、山の知識は専ら漫画「岳」（しかも借り物）からであること。というか、この加入要件、今作ったんですけど。早く言えば山に関する知識が皆無なメンバーで構成されている、エセ山ガールチームである。

こんな私が山ガールについて語ると、マジメに山ガールをしていらっしゃる先生方にお叱りを受けそうである。ごめんなさい。最初に謝っておきます。この文章は筆者の独断と偏見で満ちておりますことを。

GMCは主に山登りを楽しむというよりも、どちらかというと、おしゃべりを楽しんでいる。おしゃべりをしているのが、ただ単に山であるだけに過ぎない。それ故、休憩時間が異様に長い。それ故、自慢ではないが、頂上までたどり着いたことは、ない。目を疑った方のために、もう一度言おう。頂上までたどり着いたことは、一回も、ない。タイムリミットが来てしまい、途中で引き返すことはざらだし、マイナーな山に登った時には登山道を見失い、あえなく引き返したこともあった。頂上まで行きたくても、辿り着けないのである。つまり、エセ山ガール集団であるからこそ、ツメが甘すぎなのである。しかし！楽しさだけではどこぞの山チームにも負けて

いないという自負がある。常に喋り声と笑い声、ついでに歌声があふれている。ちなみにGMCメンバーは全員アラサーの独身女子である。

それではここで、皆さんにもおすすめしたい、GMCアイテムをご紹介します。

GMCツアーに欠かせないアイテムその1。凍らせゼリー。これは銀座で売っているような高価なゼリーでなくて良い。100円くらいで売っている果物入りゼリーで十分である。高いゼリーはきっと、そのまま食べた方が美味しい。とにかくゼリーを登山前日に冷凍庫に入れ、家を出るとき適当に保冷剤と一緒にくるんで持っていくと、登山の間に丁度良い具合に溶けて、シャーベットのよう状態のゼリーを楽しむことができる。汗だくになった体をスーッと冷やしてくる、夏登山に持って来いのデザートである。ちなみにこの考案はGMC部長のKoyucaである。実用新案で保護できないのが残念だ。

その2。ドリップパックコーヒーと熱湯入りマグボトル。山でのLUNCHの後はコーヒータイムが欠かせない。ドリップパックを登山人数分持っていき、コップにセットしてマグボトルからお湯を注ぐだけで完成である。マグボトルはしっかりと密閉できるものを選ぼう。背中をヤケドしたら笑えない。ちなみに複数のマグボトルに熱湯を入れておくと、共に登るメンバーで分け合って背負えるので、コーヒー担当の荷が軽減される。ちなみにコーヒー担当のニックネーム+カフェで結合商標にして、例えば、「そろそろ、のんカフェしない～!？」なんて言うとか、山ガールっぽくないですか？

その3。吸汗速乾インナー。これはGMCおすすめ、というか、山をされる方にとっての標準アイテムである。以前、紅葉のキレイな季節に、私は吸汗速乾素材ではないTシャツでお山登りをしてしまったこ

とがあった。その際、歩いている間は暑くて汗がダラダラなのに、休憩で止まると途端にガクガク震えるほどの寒気が襲ってきたことがあり、これはマズイと反省した。ちなみに吸汗速乾の長袖インナーにTシャツを重ねると、レイヤードになってオシャレ感も増す。長袖部分の色を他のアイテムとコーディネートしよう。帽子、サングラス、インナー、Tシャツ、パンツ、靴下、靴、ザック。これらをコーディネートしていくとグッとファッショナブルになる。らしい。かく言う私はよくわからないので、GMCのメンバーに自分の山ファッションをコーディネートしてもらっている。センスある友人を持っていると、私の持ち物を把握してくれているので、「これが合うんじゃない？」とアドバイスしてくれる。なんと良い友人。

その4。ゴア様。ゴア様とは、透湿防水素材の最高峰のブランドのことで、敬意を込めてGMCではそのように呼ぶ。活用方法とすると、靴やカッパの素材を尋ねる際、「それ、ゴア様？」という感じ。ゴ

ア様の威力を感じたのは、真夏の登山でアブの軍団に襲われた際であった。私はその日、長袖インナーを着ておらず、アブの軍団から身を守るためにはカッパを着るしかなかった。真夏の低山でカッパを着て登るなど耐えられないと思ったが、さすがゴア様。非常に快適であった。この一件以来、GMCメンバーは、皆、ゴア様と呼ぶようになった。

その5。温泉道具！GMCは野天温泉に入れるほどワイルドではないので、もちろん山の上までは持っていかない。車においておき、帰りに温泉に浸かって、疲れを流し去って帰るのだ。群馬には山に行けば必ず近くに日帰り温泉がある。群馬在住だからこそできる贅沢なのかもしれない。

ここまで読んでくださった先生方。少しは山ガールの生態をお分かりいただけたでしょうか。山ガールは山だけでなく、人との繋がり、そしてファッションであれ、料理であれ、登るまでの過程と、その時間を楽しんでいる人たちなのである。

以上